

# Cisco Firepower 8000 シリーズ デバイスでのスタック設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[サポートされるデバイス](#)

[登録 チェックリスト](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定手順](#)

[確認](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

ネットワークセグメントで点検される設定トラフィック量を 8000 シリーズ アプライアンスのスタックによって増加し、単一で結合されたリソースを、共有されて使用、できます。この資料に Firepower 8000 シリーズ アプライアンスのスタックを設定する方法を記述されています。

スタック配備では、ネットワークセグメントに接続されるプライマリデバイスとしてデバイスの 1 つはすべてのその他のデバイスがセカンダリデバイスとして指定され、プライマリデバイスに追加情報を提供するために配置されるか、指定されます。

## 前提条件

### 要件

スタックのデバイスすべてを確かめて下さい...

- スタッキング ケーブルをスタッキング モジュールに物理的に接続して下さい  
ヒント： ケーブルをスタックすることを持たない場合、それを発注するのに PID `FP-NMSB-CABLE=` 使用して下さい。モジュールのスタッキングを発注する必要があるら同様にモジュールをスタックするために PID として `FP8000-STACK-MOD` 使用して下さい。
- 同じハードウェアを持って下さい
- 同じソフトウェア バージョンを持って下さい
- 同じアクセスコントロール ポリシーおよび NAT ポリシーを持って下さい ( もしあれば )
- 同じライセンスを持って下さい

注: 8360 のようなハイ エンド デバイス モデルの場合には、スタックが形成された後適用すべき 1 ライセンスだけあるかもしれません。スタックされるべき個々のデバイスはライセンスが不要かもしれません。デバイスがスタックされた後、ライセンス ページは Devices セクションよりもむしろスタック セクションの下で提示されます。

## サポートされるデバイス

次の図はスタックを構築するのに使用できる Firepower デバイスの支持モデルを要約します。各モデルの[詳細仕様およびスループット](#)を学ぶために、関連データ データ用紙を読んで下さい。

製品ファミリ	支持モデル	プライマリデバイス	セカンダリデバイス	総ラックマウント単	
81xx ファミリー	8140	単一	8140 はスタックを構成しません	1U	
	8140*	プライマリとして 1	8140、セカンダリとして 1	8140	2U
	8250	単一	8250 はスタックを構成しません	2U	
82xx ファミリー	8260	プライマリとして 1	8250、セカンダリとして 1	8250	4U
	8270	プライマリとして 1	8250、セカンダリとして 2	8250s	6U
	8290	プライマリとして 1	8250、セカンダリとして 3	8250s	8U
	8350	単一	8350 はスタックを構成しません	2U	
83xx ファミリー	8360	プライマリとして 1	8350、セカンダリとして 1	8350	4U
	8370	プライマリとして 1	8350、セカンダリとして 2	8350s	6U
	8390	プライマリとして 1	8350、セカンダリとして 3	8350s	8U

\* 8140 モデル デバイスのシャーシは 8120 および 8130 のモデルのシャーシと同一です。ただし、スタッキング機能は 8140 年の型でだけ利用できます。82xx および 83xx ファミリーとは違って、型番は 2 つの 8140 のデバイスのスタックのために変わりません。

## 登録 チェックリスト

- デバイスをスタックするために、すべては FireSIGHT Management Center に登録している必要があります。この要件が満たされない場合、管理センターはスタックすべきデバイスが十分ないことを示すエラーメッセージと共にスタックのデバイスを追加することを可能にしません。



たとえば、3 つの 8370 のデバイスをスタックしたいと思えば管理センターにプライマリデバイス、また他の 2 つのセカンダリデバイスを登録する必要があります。

- スタック メンバー全員は別々の管理 IP アドレスで設定される必要があります。

## 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は以下の製品を利用します:

- FireSIGHT Management Center 仮想 な アプライアンス ( 5.4.1.2 ) ソフトウェア バージョン
- 2 Firepower 8140 のデバイス ( 両方ともバージョンを 5.4.0.3 ) 実行しています
- ケーブルのスタック
- スタックしますネットワークモジュール ( NetMod ) を

スタッキング ネットワークモジュールが利用できれば、下記にとして管理センターのユーザーインターフェイスで表示する:



このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 設定手順

[必要条件](#)が満たされたら、スタックを確立するのに FireSIGHT Management Center を使用して下さい。スタックを設定するために下記のステップに従って下さい:

**ステップ 1.** FireSIGHT Management Center へのログイン。デバイス > デバイス管理へのナビゲート。このページでは、たいと思うスタックしデバイスに同じライセンス、OS バージョンおよびアクセスコントロール ポリシーがあればかどうか確認できます。

**注:** 両方のデバイスのシステム ポリシーおよび健康政策を同じ保存することは必須ではありませんがすべての応用ポリシーが同一であることを確かめることは賢明です。スタックのデバイスすべては適用される同じアクセスコントロール ポリシーがあるはずで

**ステップ 2:** 右上隅で、廃棄リストから『Add』を選択すれば。スタック > プライマリデバイスを『Add』を選択して下さい。



**ステップ 3.**スタックの名前を追加して下さい。少なくとも 1 人のセカンダリ スタック メンバーはうまくスタックを設定する必要があります。セカンダリ スタック メンバーを追加するために、『Add』を選択して下さい。

## Add Stack

? X

Primary:

Name:

Secondaries:

Primary Slot	Secondary	Secondary Slot
--------------	-----------	----------------

At least one secondary connection is required.

Stack


Cancel

ステップ4 『Add』 をクリック すれば、次のページは提示されます。利用可能なセカンダリデバイスの1つを選択して下さい。

## Add Secondary Connection

? X

Primary Device Front View



Slot on Primary Device:

Secondary Device:

Slot on Secondary Device:

Add

Cancel

Slot on Primary Device:

Secondary Device:

Slot on Secondary Device:

ステップ5.物理的にケーブル接続されるようにスタックケーブルを適切に選択して下さい。

Slot on Primary Device: s2c1/s2c2

Secondary Device: s2c1/s2c2

Slot on Secondary Device: s3c1/s3c2

**ステップ 6** 上記のステップを完了した後、次のページは提示される必要があります。スタックボタンをクリックして下さい。

## Add Stack

? X

Primary: 10.122.141.205

Name: BLR-Stack

Secondaries: + Add

Primary Slot	Secondary	Secondary Slot	
s2c1/s2c2	10.122.141.204	s2c1/s2c2	

Stack Cancel

スタックのデバイスのアクセスコントロール ポリシーにミスマッチがある場合、次のエラーメッセージは表示する:

## Error



The secondary members of an HA configuration must have the same Access Control policies as the primary. The following devices have different policy: 8140a.cisco.com

OK

前提条件すべてが満たされ、上記の[ステップ](#)に従えば場合、経過表示バーは表示する。

# Please Wait...

Adding stack...



プロセスが完了した、スタックは確立されます。スタックがうまく確立された後、スタック ステータスメッセージはステータスを確認します。

## Stack status



Established stack 'BLR-Stack'

OK

## 確認

1. [Device] > [Device Management] に移動します。管理対象装置のリストは現われます。

BLR-Stack 308140 Stack					
10.122.141.204 10.122.141.204 - 308140 - v5.4.0.3	Protection, Control, URL Filtering	Stack_Test	Initial_System_Policy_2015-07-23_21:46:32	Default Access Control	
10.122.141.205(primary) 10.122.141.205 - 308140 - v5.4.0.3	Protection, Control, URL Filtering	Stack_Test	Initial_System_Policy_2015-07-23_21:46:32	Default Access Control	

2. 新興スタックを確認して下さい。スタック タブをクリックして下さい。スタック ページはスタックについてのさまざまな情報を示します。

## General

Name: BLR-Stack  
Status:   
Primary Device: 10.122.141.205

## System

Policy: [Initial System Policy 2015-07-23 21:46:32](#)

## Advanced

Application Bypass: Yes  
Bypass Threshold: 3000 ms  
Inspect Local Router Traffic: No  
Fast-Path Rules: None

## License

Protection:  
Control:  
Malware:  
URL Filtering:  
VPN:

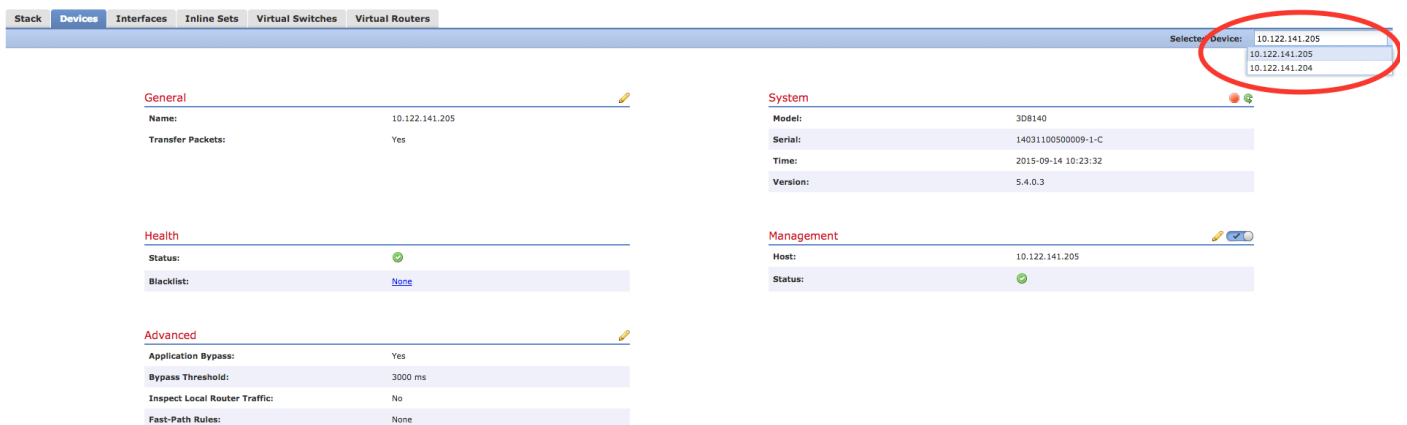
## Health

Policy:

### 3. スタック ページでは、スタックのライセンスを表示できません。

注: スタックのためのライセンスはスタック タブの下で有効になります。ただし、あらゆる個々のデバイスのライセンスを有効にするために、Devices ページを使用して下さい。

任意であらゆるスタック メンバーで変更を行ないたいと思ったら『Device』を選択廃棄メニューを使用してページの右上からデバイスを、選択して下さい。



Stack Devices Interfaces Inline Sets Virtual Switches Virtual Routers

Select Device: 10.122.141.205  
10.122.141.205  
10.122.141.204


**General**

Name: 10.122.141.205  
Transfer Packets: Yes


**System**

Model: 3D8140  
Serial: 14031100500009-1-C  
Time: 2015-09-14 10:23:32  
Version: 5.4.0.3

**Health**

Status:   
Blacklist: [None](#)

**Management**

Host: 10.122.141.205  
Status: 

**Advanced**

Application Bypass: Yes  
Bypass Threshold: 3000 ms  
Inspect Local Router Traffic: No  
Fast-Path Rules: None